

登録コード	E5004900	開講年度	2026			
授業科目	環境教育			担当教員	水谷 瑞希	
英文授業名	Environmental Education			副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限 集中・不定期	対象学生
講義室	東洋計器講義室（20番講義室）		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観			持続可能性に関わる諸問題を「地球規模」と「地域規模」の双方から理解し、将来世代に対し責任を持つ教育者として、その解決に貢献しようとする公共的使命感を持つ。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能			環境問題やESD、SDGsについての基礎的な概念を理解し、子どもの発達段階に応じて自分の言葉で分かりやすく解説できる。自然教育実習を通じて、自然の仕組みや生物多様性を五感で捉えるとともに、安全管理を含めた実践的な指導技術を身につける。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース					
(4)授業の概要	本授業は、「講義」と「自然教育実習」の2部で構成されます。 講義 講義は4月から10回（自然教育実習の事前ガイダンスを除く）、松本キャンパスで開講します。以下の内容を扱います： ・環境教育の基礎事項および背景となる主要な環境問題 ・環境教育、ESD（持続可能な開発のための教育）およびSDGsとその実践 講義では、公的機関等が公表しているリーフレットやオンライン資料を用い、最新の情報に基づいて解説を行います（これらの資料はeALPSを通じて配付）。また、講義ごとに小レポート課題をeALPSを通じて提出します。 自然教育実習 教育学部附属志賀自然教育研究施設（下高井郡山ノ内町志賀高原）で行う、野外活動および学校登山を想定した実習です。野外での自然教育の実践方法や、STEAMに関連する環境教育プログラムのアクティビティを体験します。 ・実施日程：6月下旬～7月の土・日に日帰りで実施（荒天の場合は8月上旬に順延する場合があります） ・参加日：自然教育実習ガイダンス時に決定 ・実習内容：志賀自然教育園での野外活動および屋内でのアクティビティ体験 詳細は事前ガイダンスで説明しますので、必ず出席してください。 なお、本講義は環境教育施設での実務経験を持つ教員が担当します。					
(5)授業計画	第1回【実習】自然教育実習 事前ガイダンス 第2回【講義】環境問題1：環境教育はなぜ必要か 第3回【講義】環境問題2：気候変動 第4回【講義】環境問題3：生物多様性 第5回【講義】環境問題4：循環型社会 第6回【講義】環境データの分析と検証【データサイエンス含む】 第7回【講義】自然体験 第8回【講義】ESD（持続可能な開発のための教育）【データサイエンス含む】 第9回【講義】SDGs 第10回【講義】学校での実践事例1：ESD/SDGs 1 第11回【講義】学校での実践事例2：ESD/SDGs 2 第12回【実習】自然教育実習（志賀自然教育園）1：自然観察 第13回【実習】自然教育実習（志賀自然教育園）2：自然解説 第14回【実習】自然教育実習（志賀自然教育園）3：体験学習法 第15回【実習】自然教育実習（志賀自然教育園）4：アクティビティ体験，授業アンケート【STEAM教育含む】					
(6)成績評価の方法	全体評価は、講義と実習の両方を修了した場合に、講義2/3、実習1/3の割合で総合して評価します。環境教育講義：最終レポートおよび各回ごとの小レポート等。 自然教育実習：実習参加姿勢、実習中の課題および事後レポート。 ・得点率による評価基準は次のとおりです。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	講義の最終レポートと実習の事後レポートでは、授業の達成目標に到達しているかを評価します。いずれのレポートも、題意把握・内容理解、論理構成・考察力、表現・文字の正確さ、引用・出典明示（該当するもの）などの汎用的な評価基準による加点・減点を行います。また提出期限の遅延は、減点の対象になります。					

(8)事前事後学習の内容	環境教育講義 講義では毎回、小レポート課題を課すので、eALPSを通じて提出してください。また講義内容に関連したリーフレット等の資料を提示するので、その内容について事前もしくは事後学習を行ってください。 自然教育実習 配付するテキストの内容、実習前に予習しておいてください（実習は、テキストの内容を理解していることを前提として実施します）。実習後には自然教育指導者としてのリフレクションを行い、事後レポートを提出することが求められます。 本講義は90時間の学修を必要とする内容であるため、60時間以上の時間外学習を想定すること。
(9)履修上の注意	環境教育講義 ・グループワークではGoogleグループウェア等を使用する場合があります。受講時にはネットワークに接続可能なPCを持参してください（スマホ、タブレットは不可）。 自然教育実習 ・自然教育実習の参加日程はガイダンス時にコースごとに割り当てます（なおガイダンス時に同じコース内で参加日程を交代することが可能）。 ・志賀自然教育園への移動はチャーターした団体バスによって行います。参加費用（バス代および教材費）としてガイダンス時に6000円を集金します。 ・山歩きなどの野外活動を行うため、体調を整え、服装、雨具などの事前準備を怠らないようにしてください。なお、野外活動が困難な事情がある場合や特別な配慮が必要な方は、ガイダンス時に申し出てください。 ・体調不良等で割当日に実習に参加できない場合、本授業を継続履修扱いとし、2年次以降に実習に参加することが可能です。継続履修扱いとすることで、1年次に講義部分を修了していれば、2年次以降に実習のみ履修することで単位認定されます。
(10)質問、相談への対応及び連絡先	教育学部附属志賀自然教育研究施設 水谷（mmizuki@shinshu-u.ac.jp）
【教科書】	環境教育講義：指定しない（参考資料は講義中に指示します）。 自然教育実習：授業時にテキストを配付します。
【参考文献】	SDGs 世界の未来を変えるための17の目標 2030年までのゴール 改訂新版（日能研教務部編）みくに出版，2020年，1320円（税込）